トムス　アルファード　リヤアンダースポイラー

このたびはトムス　リヤアンダースポイラー（以下スポイラー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種　本製品は以下の車種に対応しています。（2018年12月）

トヨタ　アルファード　GGH3#/AGH3#/AYH30　　平成29年12月～ トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。トムスバレルマフラーNo。17400-TGH32～4、TAH32～4（AGH3#),TAH37～9（AYH30)との同時装着が必要です。

取り付け上のご注意　以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

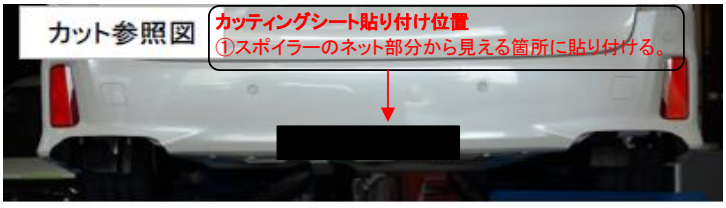
1.スポイラー取り付け作業は、必ず作業者2名で行ってください。
2.スポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
　また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。
　スポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
　（詳しくは「リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順」を参照の事）
　ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上）で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
5.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
6.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後（24時間以内を目安）の洗車は行わないでください。
　両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
7.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
8.リヤアンダースポイラー装着により、標準リヤバンパーより、全長約+35mm地上高約－40mm低くなります。
9.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
10.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品　本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【リヤアンダースポイラー　構成部品】

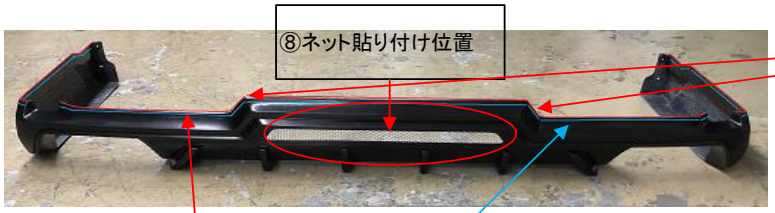
①リヤアンダースポイラー　x1
②ネット一式　x1
③ゴムスペーサー（3mm）　x4
④タッピングビス（M4x16）　x4
⑤ボルト　（M6x15）　x2
⑥ナット　（M6）　x2
⑦ステー　x2
⑧両面テープ（t1.2mmx3.0m）　x1
⑨エンドモール（3.0m）　x1
⑩型紙
⑪カッティングシール
⑬パックプライマー

取付要領

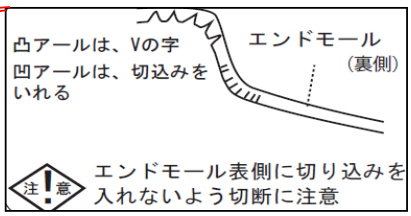


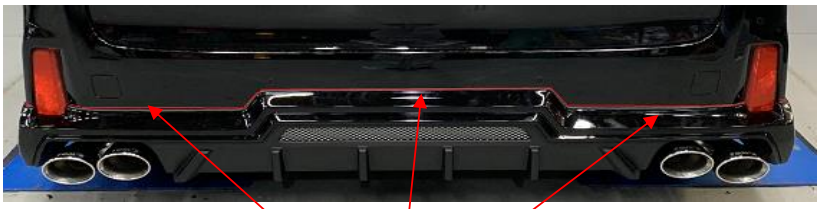
1.⑩型紙を用いてリヤバンパーをカットする。
2.①スポイラーに②ネットを取り付け、⑧、⑨の両面テープ、エンドモールを貼り付ける。
中央部分に②ネットを取り付ける。

注意！
①スポイラーの両面テープ、ゴムモール貼り付け箇所を脱脂し、⑬パックプライマーを塗布すること。



赤線→⑧ゴムモール貼り付け位置/青線→両面テープ貼り付け位置



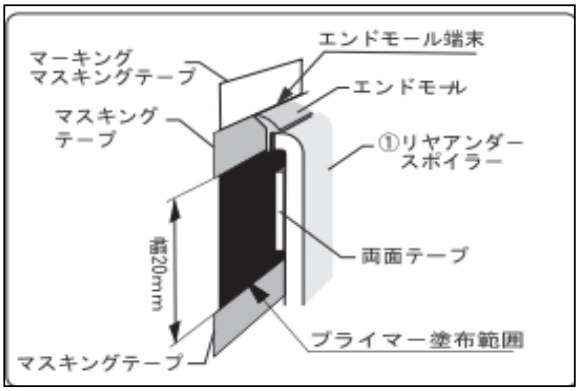


3.①スポイラーに⑦ステーを⑤.⑥のボルト、ナットを使用し取り付ける。
①スポイラーを車両に仮合わせをし、マスキングテープ等で①スポイラー装着位置をマーキングをする。

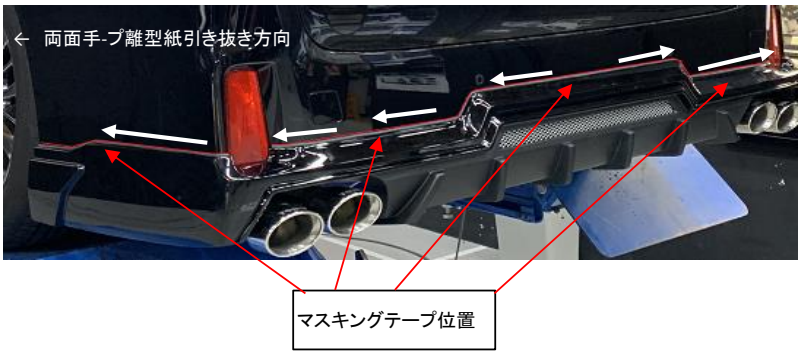
アドバイス！
養生テープ、ガムテープを使用すると作業がしやすい。

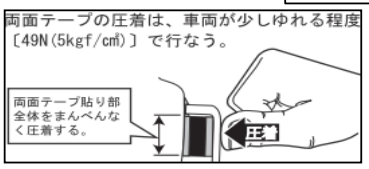
注意！
マーキングが正しく行われないとディフューザーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。

4.①スポイラーを取り外し、両面テープ接着面を脱脂、⑬プライマー塗布をする。



注意！
プライマー使用に際しては、3M　PACプライマー取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分~3時間ほこり。汚れ
水滴が付着しないようにし十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用して温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。





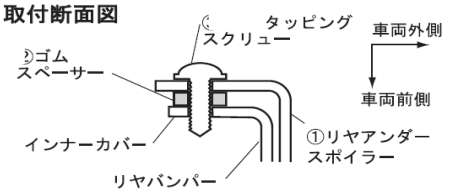
5.①スポイラーの両面テープ離型紙を50mm程剥がし、⑤.⑥のボルト、ナットを使用しマーキング位置合わせ取り付ける。
両面テープが面当たりしている事を確認した後、両面テープ離型紙を車両中央から外側へ向け圧着しながら引き抜く。

注意！
両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディーにつかないように気を付けて作業をおこなう。

6.④タッピングビス取り付け位置をマジック等でマーキングをして、キリ等で穴開けをする。
④タッピングビスを取り付ける。

アドバイス
リヤアンダースポイラーの増し締め作業の際にフェンダーアーチ部に隙間が発生する場合は、③ゴムスペーサーを取り付ける。

取付断面図



注意
フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。

7.各部のビス、ナット類を本締めをする。

（お問い合わせ先）
株式会社 トムス
TEL；03-3704-6191
月～金　AM9：00～PM5：00

リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順

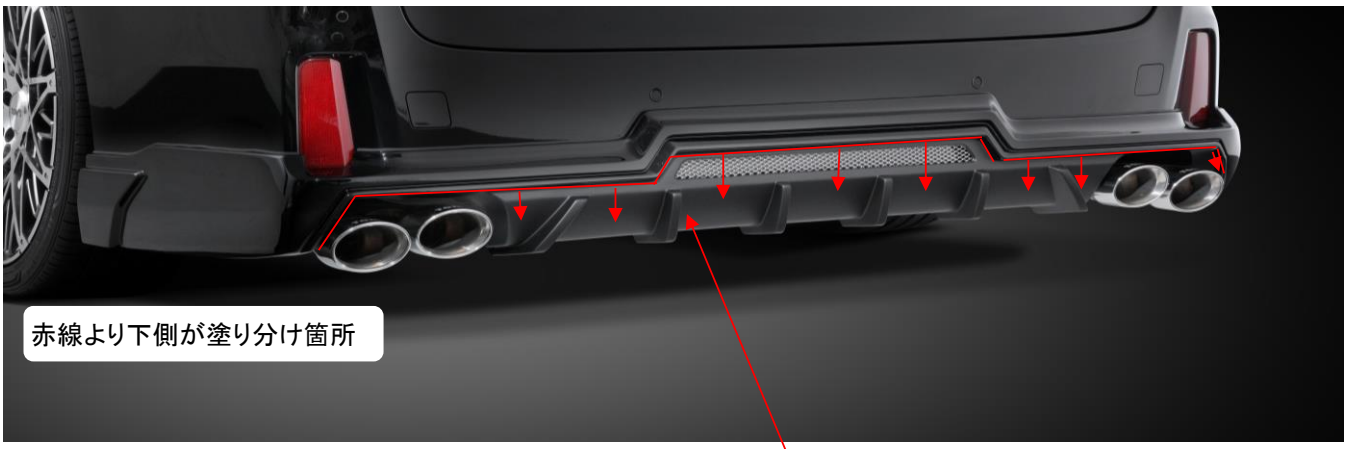
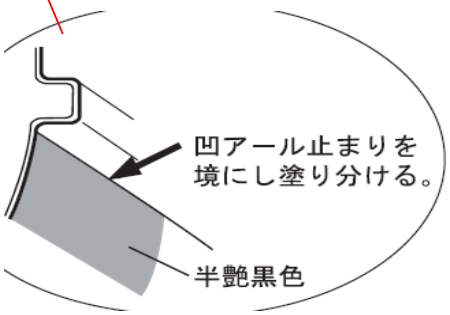
※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。
塗装後のクレームには応じません。

構成部品

①リヤアンダ-スポイラー　x1
②ネットー式　x1
③ゴムスペーサー（3mm）　x4
④タッピングビス（M4x16）　x4
⑤ボルト　（M5x15）　x2
⑥ナット　（M5）　x2
⑦ステー　x2
⑧両面テープ（t1.2mmx3.0m）　x1
⑨エンドモール（3.0m）　x1
⑩型紙
⑪カッティングシール
⑬パックプライマー

Ⅰ.塗装作業手順

1.塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2.塗装ムラ、ピンホールの発生を防止すため、塗装前に表面の水研ぎ（ゲルコートの光沢が消えるまで）をおこない
サフェーサー処理をしてください。
3.塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

注意！
本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

注意！
40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。